（様式2） 実行計画管理シート

事業名	161	良好なまちなみ形成事業	部・課	都市整備部　景観住宅整備課

総合計画との関係	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等		28　美しく魅力あるまち並みが育まれるまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		
総合戦略との関係	基本目標		
	施策目標		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明		
	2016(H28)年度市政運営方針		
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	・本市は、地元「枚方宿地区まちづくり協議会」と協働でまちづくりを進めており、平成14年から国土交通省の補助を受けながら、公共空間、施設等の整備を行なっている。平成20年（2008年）には、枚方宿地区が大阪府の「ミュージアム都市・大阪」のモデル地区に選定されたことから、平成23年（2011年）までの4ヶ年で新たに無電柱化事業などを追加実施している。（まちなみ環境整備事業関係） ・歴史的な街並み景観の保全のため街道沿いに残された貴重な町家の保全や、歴史的な修景に配慮した一般の建物についても、所有者等と調整を行い助成金を交付する。（修景助成事業関係）

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・道路の美装化、小公園の整備、案内サイン整備、無電柱化事業等 ・住宅の修景助成37件（平成27年度末現在）
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・住宅の修景助成2件
	実績（評価）	・住宅の修景助成4件（累計41件）
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・住宅の修景助成2件
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・住宅の修景助成2件
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	・住宅の修景助成2件
	実績（評価）	
備考		

課題	現在、修景助成の対象基準は、枚方宿地区まちづくり協定の内容を基本として助成を行っているが、抽象的な表現もあり対象の判断に個人差が生じる可能性がある。		
今後の対応	修景助成の対象について、公平さを確保するために具体的な内容を定め共有化を図る。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		

関連指標

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
修景補助を受けた建物の件数（累計）	○	36	37	41				46	件
指標の説明		指標の実績（評価）							
歴史的景観保全地区において市からの修景補助を受けた建物修景件数（累計）		平成28年度は4件の修景補助を行っており、目標件数の2件を上まわっている。引続き今後も修景補助を行っていく。							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）	○	8	12	16				48	件
指標の説明		指標の実績（評価）							
建築等に関する計画を進める際に、景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）		事業者に景観アドバイザー制度の活用を勧めているが、ほとんどが公共事業となっている。民間事業では対象となるものが少なく、制度の活用は少ない。							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	6,000	2,980					3,020
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）